

# 埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network  
埼玉グリーン購入ネットワークニュース  
第 19 号 2017 年 9 月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める  
首都圏初の地域ネットワーク～

埼玉GPN NEWS 2017.9



毎日興業株式会社 社長 男澤 望氏

「人が信頼を築き、信頼が社業を支え、  
社業をもって地域発展に貢献する」  
毎日興業株式会社 社長 男澤 望氏



経営基本理念について語る男澤社長

江田：今日は、当会の運営委員としてもご活躍いただいている、毎日興業株式会社の男澤社長にお話をお伺いします。お忙しいところ、インタビューにご対応いただきありがとうございます。早速ですが、まず毎日興業グループについてお聞かせください。

男澤社長：今年の1月創業者の田部井功よりバトンタッチされ、二代目の社長に就任しました。

当社は昭和48年に大宮で、建物のお掃除会社として創業、今年で44年になります。現在は、建物サービス業、お掃除から空調・電気・消防・水周りなどの設備管理、機械警備、リフォームなど建物に関するこ

とは何でもやっています。一級建築事務所、指定管理者業務も行い、グループ全体で2,000名を超える社員がおります。エリアは埼玉県内だけでなく、都内、神奈川県内、千葉県内へと広がり、東京文京区に東京オフィス、横浜駅東口に横浜オフィスを設けています。

## 経営基本理念

江田：御社の経営基本理念に社業をもって地域発展に貢献するとあります。地域に根ざして44年、地域と共に発展して行くことができました。

男澤社長：経営基本理念は「人が信頼を築き、信頼が社業を支え、社業をもって地域発展に貢献する」であり、「人」に力点を置いた経営を行っています。徳のある人材を育てようと、30年以上前より朝礼で倫理研究所「職場の教養」の輪読を行うなどを行っています。現在はさらに「木鶏雛の会」と呼んでいます。社内木鶏を毎月行い、社員一人ひとりが感想文を書いて発表をしています。社内木鶏、致知出版社によると現在1000社を超える企業が行っているそうですが、当社が日本で最初に行った企業です。

## 自主性と創造性を育む

江田：社員のモチベーションを高く保つために、何か行っていることはありますか。

男澤社長：当社は、自主性と創造性に溢れた良い判断・行動が自然と溢れ出て来る職場風土、社員同士が互いに協力・連携してお客様の要望にスピーディーに対応

## CONTENTS

- トップインタビュー 毎日興業株式会社 社長 男澤 望氏 ..... 1
- 第10回通常総会 埼玉グリーン購入フォーラムの開催 ..... 2
- 埼玉打ち水の環2017 ..... 3
- 「環境問題の現況と将来を展望するセミナー」を開催 ..... 4
- 中小事業所の省エネを推進 ..... 4



環境について語る男澤社長

できる貢献意欲の高い組織、お客様から「ありがとう＝喜び」をたくさん頂くことで、「やりがい」や「人としての成長」を感じる事の出来る組織、を目指しています。

2003年度より自主参加ではありますが「気づき改善コンテスト」を行い、社員一人ひとりが自主的に改善していく風土づくりを行っています。2016年度は1779件の改善が報告されました。

### 環境とグリーン購入

**江田:**社員の積極的な姿勢に感心いたしました。一方、環境への配慮についてはいかがでしょうか。

**男澤社長:**当社のグループには空調専門の㈱アクセルがあります。㈱アクセルでは、お客様にエアコンの上手な使い方をお知らせしています。「秋分の日が過ぎたら換気運転に変えよう」とか「ドライ運転は極力避けよう」などです。当社の事務所でも、扇風機を活用することにより、夏は冷たい空気が回るよう、冬は暖かい空気が下りてくるよう、空調を合理的に使うよう工夫をしています。また、電気のスイッチの位置を変えたり人感センサーを付けることにより電気の付けっぱなしをしないようにしています。これも「気づき改善」として各職場が自主的に行っています。指定管理の施設では設備担当が、毎日朝礼で前日までの電気、ガス、水道の使用量を前年同月と比較したものを報告し、スタッフで情報の共有化をはかっています。体育館等の施設についてはLED化を進めています。

2005年より「エコ&ハローキャンペーン」アルミ缶を24000個集めて車椅子と交換しようという運動に参加しました。9年半かけてやっと集め、2015年2月に車椅子1台をさいたま市社会福祉協議会に寄贈しました。9年半という歳月に社会福祉協議会の常務さん

がびっくりして、協議会の会長である清水市長に直接お渡しする機会をつくって下さいました。この「エコ&ハローキャンペーン」は、地球温暖化防止推進と障がい者福祉の二兎を追える素晴らしい取り組みだと思います。

グリーン購入については、カウネット等のカタログ販売のエコマーク付きの商品を優先的に購入するよう、GPNに入会以来心掛けています。

**江田:**「事業活動の中で、職員一丸となって環境や地域の発展に日々貢献されているのですね。地域に根ざした社会活動に感服いたしました。」本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。ますますのご発展を祈念しております。

## 第10回通常総会 埼玉グリーン購入フォーラムの開催

### 第10回通常総会

7月7日(金)、新都心ビジネス交流プラザで第10回通常総会を開催しました。来賓ご挨拶として埼玉県環境部森美秀副部長にご出席いただきました。



通常総会の様子

議事では、江田会長進行のもと、村重運営委員長から2016年度事業報告(案)及び決算報告(案)、2017年度事業計画(案)及び予算(案)、運営委員の変更について説明を行い、全ての議案が承認されました。決算では、今期収入合計937,836円に対し、支出合計964,298円となりました。今年度に入り未収金



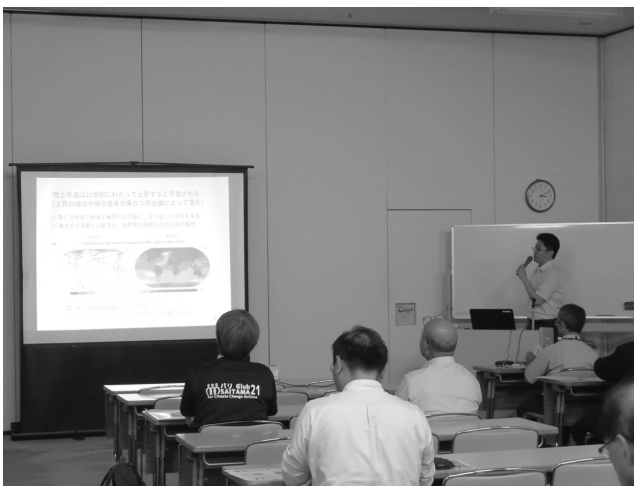
深津事務局長ご挨拶の様子

が回収でき、マイナスは解消している旨も報告しました。また今年度はパリクラブ21埼玉の活動も充実していくほか、設立10周年を記念したフォーラム等を開催することを報告しました。

最後に、グリーン購入ネットワーク事務局長の深津氏から閉会のご挨拶をいただき、第10回通常総会は無事終了しました。

### 埼玉グリーン購入フォーラム

総会終了後、恒例の埼玉グリーン購入フォーラムを開催しました。今回は身近な温暖化の影響や対策を知り、グリーン購入から低炭素社会の実現に貢献することをテーマとして、環境科学国際センターの本城慶多氏に「埼玉県の温室効果ガス排出量のこれまでとこれから」について講演いただきました。CO<sub>2</sub>排出量の算定結果は統計資料の見直し等で大幅な変更が生じる可能性があることや、今後埼玉県が取り組むべき課題など、詳しくお話いただきました。



本城氏ご講演の様子

続く情報提供では、埼玉県環境部温暖化対策課の森田主幹から「目標設定型排出量取引制度」についてご紹介いただきました。日本では珍しいこの制度により、埼玉県では第1計画期間の4年間で目標の約3倍となる22%のCO<sub>2</sub>排出量削減を達成することができました。



森田氏ご発表の様子

最後に、オリジナルTシャツを着用した環境ネットワーク埼玉の星野理事からパリクラブ21埼玉の活動についてご紹介いただきました。温暖化問題に待った

無しの今こそ、産・官・民の意識と力を結集して温暖化対策を盛り上げていくことの重要性を呼びかけました。



星野氏ご発表の様子

### 埼玉打ち水の環 2017



さいたま打ち水大作戦 2017

パリクラブ21埼玉ではこの夏、日本に古くから伝わる夏の風物詩であり、ヒートアイランド対策にも繋がる打ち水を県内に広げるために「埼玉打ち水の環2017」を実施しました。地域や会社、学校などで打ち水を予定している団体や個人を募集した結果、12の団体・個人にエントリーいただきました。パリクラブ21埼玉でも7月29日(土)に行われた「さいたま打ち水大作戦2017」を埼玉打ち水の環2017のメイン会場として位置づけ、打ち水に参加しました。会員の埼玉県やさいたま市、大宮アルディージャの出演等もあり、総勢650人の参加を得ました。



打ち水を実施いただいた団体の様子(一部抜粋)



(一社) 埼玉県環境検査研究協会打ち水の様子

## 「環境問題の現況と将来を展望するセミナー」を開催



セミナー会場の様子

9月1日(金)、大宮ソニックシティ市民ホールで一般社団法人埼玉県環境検査研究協会と共催で標記のセミナーを開催しました。

今回は、GPN会長の平尾雅彦東京大学大学院教授に「環境に良いことを見分ける力を養う！～ライフサイクルアセスメント(LCA)とグリーン購入の基本～」と題してご講演いただきました。水道水、国産・輸入ミネラルウォーターのCO<sub>2</sub>排出量の違いを例にLCAをわかりやすくご説明いただきました。またエコバックは、生産工程のCO<sub>2</sub>排出量はレジ袋に比べて大きく、何回も使わなければエコではない、選び方と同時に使い方が重要であるとお話しされました。さらに家庭でのCO<sub>2</sub>削減対策などに及び、最後に、私たちの行動が将来世代に影響を及ぼすことに対して、一人ひとりが



平尾会長ご講演の様子

日常の中でLCA思考をもって、グリーン購入などの取組を実践すべきであると強調されました。

続いて、八潮市にある来ハトメ工業株式会社の環境管理責任者の石原隆雅さんが「ドシロウト集団、かく変革せり～EA21 認証取得からの大変革～」と題し、中小企業が取引先からの要請でEA21を取得したことからはまった環境活動を徐々に発展させていった経緯や組織的取組について、具体的にご紹介いただきました。

## 中小事業所の省エネを推進



この度、県内の中小事業所の省エネをさらに支援するために、経済産業省の補助金を活用し「埼玉県省エネ促進プラットフォーム」が立ち上がりました。埼玉県、県内の中小企業関連団体や銀行、さらに省エネ技術の専門家や経営の専門家の参画の元、省エネに関する相談や各事業所に対応したオーダーメイドの省エネ支援、省エネに関する情報の一元化を図り、省エネの取り組みを促進します。事業所の支援としては、まずエネルギー使用の現状把握、次に省エネ診断によるアドバイス、さらにその事業所に応じた省エネ計画のお手伝い、設備導入や運用改善等のアクション後の効果検証やさらなる提案など、PDCAサイクルを回しながら省エネのワンストップサービスを行います。省エネ診断やトータル支援は、無料となっています(但し、設備機器の導入等は別途)。今年度は初年度ということもあり、この支援サービスを広く知っていただき、気軽に相談を受けていただきたいと思います。また、省エネセミナーや省エネ相談会の開催等も予定していますので、該当事業所様は是非ご参加ください。事務局は特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉となっています。

**■ 入会案内**  
 団体会員、サポーター(個人会員)があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

**■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク**  
 〒337-0053さいたま市見沼区大和田町2-1322-2大和田NPOプラザ内  
 TEL.048-749-1217/FAX.048-749-1218  
 E-mail saitamagn@yahoo.co.jp  
 Home Page <http://www.saitamagn.jp/>